



質問

町長の男女共同参画の考え、意気込みは

町長

本当に大切なことで、多くの意見を聞きたい

内田 精彦 議員

質問 第二次奥出雲町男女共同参画計画の推進状況は、

町民課長 定例の課長会議を庁舎内推進体制の中心として、関係各課協力のもと男女共同参画社会の実施に向け取り組んでいる。

質問 平成32年の目標数値に対し平成28年度の実施はいくらののか。町民課長 5項目で、

①各審議会等への女性の参加率は、目標30%に対し20・3%、②女性の委員がない審議会等の数は、目標値0に対し7団体、③町の女性管理職については、目標値20%に対し13%、④自治会の女性役員数は目標数値10人に対し正副会長はないが常会長、班長が両方で28人、会計が4人、⑤男女共同参画の研修、講習会開催数については、現在調査中であるが、27年度実績では目標18回に対し15回開催

している。

再質問 町長の見解は、意気込みを聞く。

町長 本当に大切なことで、多くの意見を聞きたい。

人工透析患者について

質問 人工透析患者の通院、医療費助成制度の現状は、

町長 対象者は町内にお住まいで腎臓機能障害と記載された身体障害者手帳の交付を受けている方。助成額は通院費につき、バス、鉄道利用は2分の1、自家用車は距離に応じて算出する基本額の2分の1。医療費については、国の助成と町独自とし



て本人負担額の4分の3を助成している。

現在透析により本事業を利用している患者数は25人で本年度予算は通院費助成、医療費助成で235万2千円だ。過疎債のソフト事業を活用している。

質問 透析後に車の運転ができない患者の同伴者に手当は出せないのか。

町長 人工透析患者の方に限らず家族同伴が必要な患者の方は多数だが、他の患者との公平性を期する上でも難しい。

質問 透析患者の対応は奥出雲病院でできないのか。

町長 専門知識を有する医師確保が難しく、

現在、病院医師が担当できる可能性については、現在の診療体制からは大変困難な状況である。常勤医師はほんのこと、非常勤医師についても厳しい状況であり、医師の確保は奥出雲病院にとって最重要課題と認識している。

大仁農道災害について

質問 大仁農道の災害状況と復旧工事は誰が、いつ行うのか。

農林土木課長 ホシザキ電機株式会社敷地の法面が延長約40m、法

高で10m、推定400㎡の土砂が土留め擁壁とともに農道へ流失した。

復旧工事はホシザキ電機が行う。工事は非常に規模が大きくて、半年以上かかるという。

職員の処分について

質問 職員の不祥事に伴う処分は、

町長 当時の総務課長は平成29年3月27日付けで減給10分の1、1か月の処分をした。平成29年4月に減給分を返納済みである。



大仁農道災害